

新年のご挨拶



北原 保雄

(独立行政法人日本学生支援機構理事長)

明けましておめでとうございます。

昨年中は本機構の事業につきまして、皆様方には格別のご協力ご支援を賜り誠にありがとうございました。年頭に当たり、決意も新たに諸事業に取り組みたいと思いますので、本年もよろしくご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

昨年四月、本機構は学生生活支援事業、奨学金貸与事業、留学生支援事業等の事業を統合して行う機関として五つの法人が一つの組織に統合され発足しました。異なる伝統、習慣をもつ法人の組織を統一融合するに当たっては多くの課題がありました。お陰様で滞りなく各事業を実施することができました。本年も一層の努力を重ねてまいります。

さて、大学等を取り巻く状況は少子化の進展やユニバーサルアクセスの到来等により年々変化しています。大学は競争的環境の中で学生サービスの向上に努めることが重要となっております。また、学生の多様化にともない、学生生活支援業務も一層の多様化、複雑化、専門化及びきめ細かさが必要となると予想されます。

本機構としましては学生生活支援に携わる教職員を対象とした各種研修事業、情報提供事業をとおり、学生相談・修学支援・就職支援の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

各種研修事業としましては、大学等の学生指導担当教職員のスキルアップと研修の内容を充実するために、体系的な研修プログラムを開発し、関係機関とも連携して各種研修会を全国又は地域ごとに実施してまいりました。このような場で学生相談の件数の増加や困難化が報告されるなど、昨今の学生の多様化にともない、学生生活支援の内容が多様化、複雑化しております。大学等の窓口では一層きめ細かな対応が求められると予想されますので、今後とも充実した研修を行ってまいります。

情報提供事業としましては、各大学等が行う各種学生生活支援活動に資するために、学生生活支援に関する有益な活動事例等の情報を収集・分析するとともに、本誌をはじめとして、「外国人のための就職情報」、ボランティアガイドブック等の出版物・ホームページ等各種メディアを通して、様々な学生生活支援に関する情報の提供を行ってまいりました。また、各種研修事業を通じて効果的・効率的な情報収集提供を図ってまいりました。今後とも、幅広い活動事例等の情報収集提供により、学生生活支援に関するデータベースの構築を図り、各種メディアを通してきめ細かい学生生活支援活動をサポートしてまいります。

また、安心して勉学に取り組める基盤の整備につきましては、奨学金貸与事業、留学生支援事業をとおり、日本人学生と外国人留学生に対して総合的な支援を行ってまいりたいと思います。

以上、学生生活支援事業を中心に年頭に当たって取組むべき課題の概略を申し上げます。

本年は本機構発足二年目になりますので、業務の一層の効率化を図り、さらなる事業の充実発展を考えております。旧来にも増してご協力をいただきますよう重ねてお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。